

子供の町 だより

創刊：昭和24年11月
発行：社会福祉法人 子供の町
児童養護施設 子供の町
児童養護施設 エンジェルホーム
地域小規模児童養護施設 菜の花
TEL：048-746-0206
FAX：048-746-9215
HP：<http://kodomonomachi.jp/>



「子供の町だより 2020 春」

社会福祉法人子供の町
理事長 齊之平伸一

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月2日からほとんどの学校が休業となりました。子供の町では、「休校中の過ごし方」を作成し、生活のリズムを乱さないように周知しております。子どもたちは、原則、外出禁止、十分な睡眠、適度な運動、食事を3食しっかり食べる、検温、手洗い、定期的な換気などを行って、感染防止に努めております。

午前中は、学校から配布されている課題に取り組んでいます。

自分で黙々と進める子、「わかんない」「できない」と職員に手助けを求める子、さまざまです。職員は、てんやわんやしながら、多くの子どもの学習をみています。自由時間には、園庭で、小さい子から大きな子まで、

活発に外遊びを楽しんでいます。

時間が十分にあるため、時にはおやつ作りやオリジナル工作をしたり、大掃除に取り組んだりしています。

外出できない状況を職員と子どもで話し合い、工夫しながら過ごしています。

職員は、勤務前に検温を実施し、勤務中は必ずマスクを着用しております。

また、ボランティアさん等の受け入れは中止しております。

現在、最前線で治療に当たられておられる医師や看護師の方々をはじめとした医療従事者のみなさまには、深く感謝申し上げます。

子供の町では、ご支援をいただいている方々のご協力により、十分なマスク、消毒液などを確保させていただいております。

また、玩具、菓子などご寄付いただき感謝申し上げます。

早く新型コロナウイルスが終息することを心から願っております。

「新年度を迎えて(ステイ「子供の町」)」

子供の町 施設長 坂本仁志

世界中が新型コロナウイルス感染防止の対策に追われる中、令和2年度が始まり、早2ヶ月が過ぎようとしています。

4月1日に、3月末で退任された根岸前施設長の襷を引き受け、子供の町の施設長に就任しました。役員の皆様をはじめ関係者の皆様、地域の皆様には、前任者に引き継ぎまして、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、冒頭でも触れましたが、新型コロナウイルスの影響で、学校の休業、外出の自粛、様々なイベントの中止など、これまでに経験したことのない環境下での生活が強いられています。緊急事態宣言が発令後は、施設でも不要不急の外出の禁止、面会や来園者の制限、職員会議の中止など、施設内で感染者を発生させないための対策を取らせていただいております。子どもたちは、3月2日から学校が休業となり、年度末から年度初めの重要な時期、長い期間に亘り施設で学校からの課題を行うということになりました。施設では、学習の時間と遊びの時間を設定して生活のリズムを維持していけるように支援しております。しかし、仕方がないこととは承知のうえ、学校に行けないこと外出できないこと、また定期的な面会が出来ないことなど、子どもたちのストレスは相当に膨れあがっていることと思われまます。そんな中でも、子どもたちや職員のアイデアにより、寮ごとに少しでも楽しく生活を送れるようにと様々な工夫をしてくれてい

ます。先日は、寮別チームによるバスケットボール3×3の対抗戦を実施しました。意外な展開やプレーに驚いたり笑ったりと盛り上がっていました。

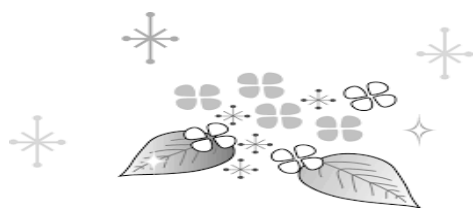


ところで今回の新型コロナウイルスにより、改めて施設の感染症に対する機能整備の必要性を感じました。全国では主に高齢者施設や病院などでクラスターと言われる集団感染が発生しております。施設や病院は集団で生活していますので、一人感染者が発生してしまうと、次々に多くの人が感染してしまうというリスクがあります。子供の町・エンジェルホームには、幼い2歳の子どもから多くの子どもが入所していますので、命を守るという観点で感染症の防止に最善の努力を注ぐ必要があるかと思えます。取り急ぎ、感染の疑いのある子どもや職員が発生した場合の対応や感染者が発生した場合の対応を協議し、資料を作成し運営会議で提示しました。感染症対策などリスクが高い事案には、組織として職員が一丸となって取り組んでいく決意と姿勢がなければならぬと考えます。東日本大震災の後には、日本中で災害に対する備えが整備されました。人は自然や社会とともに成長し、また影響を受けてきました。様々な困難も、知恵を絞り、力を合わせるという人間の力で乗り越えてきました。新型コロナウイルスの対策も国民が一丸となり取り組んでいる現在、終息に向かっている結果として表れています。子供の町・エンジェルホームとしても感染症の予防や対策に改めて見直しを図っていきたいと思っております。

そして、この4月から新規採用となった13人の職員にとっては、例年とは違った

長い春休みが続く中、2ヶ月が経過して少しずつ慣れたと同時に困難さを感じる場面にも遭遇してきているものと思います。研修や会議などが十分に行えないことや、子どもたちが常に施設内にいるという状態で、真摯に子どもに向き合っている姿を見て、申し訳ない気持ちと感謝の気持ちでいっぱいです。これからも一緒に子どもたちに寄り添い頑張っていきたいと思っています。

最後に、新型コロナウイルスの影響を多くの方々にご心配いただき、マスクや殺菌液等の寄贈をはじめ、いただいた励ましのお言葉に改めて感謝を申し上げます。



「就任のご挨拶」

エンジェルホーム 施設長 堀江豊子

令和2年4月1日エンジェルホーム施設長を拝命いたしました。

入職してから27年目を迎えます。幼児寮・女兒寮・主任・里親支援専門相談員・副施設長を経てこれまでたくさんの職員さんとお仕事をさせていただき、たくさんの方々を支えられここまでやってこられたことに感謝申し上げるとともに就任の大きさに戸惑いも感じております。なにぶん個人の力量としては心もとないところもあり、皆様のご協力を賜りながら果たしてまいりたいと思っています。

さて就任前から新型コロナウイルスが流行して外出自粛となり、社会情勢も厳しく

なっております。子どもたちも大切なイベント(卒業式・入学式)も縮小化され、友達との別れを惜しむ時間もなく、新しい学校生活もできない状況です。

子ども達が遊べる場所は、施設内の園庭のみですが、小さい子どもは元気いっぱい遊んでおります。感染を持ち込まないように親との面会も高校生のアルバイトも自粛してもらっています。また、毎日の検温・3密にならぬように、換気・手洗いなどみんなの協力・努力のおかげで感染を持ち込まずにおりますが油断をしないように、また解除になりましたも注意喚起をしていこうと思います。

この感染症の流行が続く中、施設の状況を理解し心配して支援して下さる方々がいることに嬉しく感謝いたします。卒園生(S.Mさん46歳)が、1000枚のマスクを届けて下さいました。また別の方から、小さい子供用の手作りマスクをいただき喜んでおります。未だ自粛が続き、経済が停滞する中で、先が見通せない上、今年3月に卒園した子どもたちも少なからず影響を受け心が折れてしまうのではないかと懸念しております。

また、学校も休校が続き学習の遅れ、子どもの学びをどうしていくか?課題もあります。報道などでは双方向のオンラインを使って学習をしていくなどの考えがありますが、施設にはまだまだ全員にいきわたるほどのPCもなくオンラインもできていない現状で課題が増えるばかりです。(やっと子供用のwi-fiが繋がり、各寮舎にPCが入りました。)

6月から学校が始まりますが、学校生活様式も変化していくことでしょう。私達も

この変化に応じた対応をしていかなければなりません。学校だけではなく職場でも会議の持ち方・研修の在り方を考えていきます。(オンライン試行予定)

新任職員13名もこの状況の中で、こども達と奮闘しております。本来なら4月は研修も始まり、歓迎会もあり目まぐるしい時期のはずが何も行えず、時間だけが過ぎていきます。

その中でも子どもたちと真摯に向き合いたくましさもみられます。

この感染症がいつ収束するかはわかりませんが、社会情勢も増々厳しくなり、社会的養護の役割が高まっているため私たちにできる準備はしていきたいと思えます。

職員一人一人の気持ちを大切に、みんなで共有していける職場作りが子どもたちにも繋がっていきます。子供の町の理念「ここで暮らしてよかったと思える施設作り」「ここで働いて良かったと思える施設作り」「地域の親子に寄り添う施設作り」を新しい職員13名と共に進めていきたいと思えます。

今後共ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

【訃報】

9歳(小4)の男児が5月13日朝、「目が痛い」と訴え突然心肺停止となりました。救急車を要請して小児医療センターに搬送いたしましたが、19日家族に看取られて永眠いたしました。(死亡原因は脳動静脈の奇形による小脳出血)

突然の出来事の中で、職員の対応・連携も取れ、日頃の研修が生きたように感じています。改めて研修の大切さを痛感してお

ります。

子どもたちの心のケアももしっかりおこなっていくと共に命の大切さも教え伝えていきたいと思っております。

ご逝去されました児童のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、子どもたちは長期の学校休業になりました。子ども・職員の外出制限中の様子です。

「新型コロナウイルスでの日課」

子供の町 3寮 小5 R.H.

僕は、学校が休みの時はパソコンで動画を見ている時が楽しい気持ちになります。ゆきとと、遊んでいる時が多く人形遊びや外遊びとかいつも一回以上は、遊んでいます。

その中でも、一番遊んでいる遊びは、J ボーライダーをやっています。

新型コロナウイルスで学校がいけなく暇な時間が多くあり嫌です。



「コロナは恐ろしい」

エンジェルホーム 9寮 清水郁実

新型コロナウイルスの影響で学校が休校になって、子どもと関わる時間が増えた分、良い事も悪い事も多くあると感じています。



良い事は、一緒にお菓子やケーキを作ったり、ご飯を作ったり、出来る遊びをしたりして楽しんで

ていることです。普段あまり関わらない子どもとお話や遊びを通して関わる事が出来ます。しかし、小学生が多く、男児寮なので喧嘩やトラブルが多く、注意することも増えてきているのも事実です。どのようにすれば喧嘩やトラブルがなくなるのかその都度、お話をし解決に向けて話し合いをしています。早くコロナが収まり、今までの当たり前な生活に戻ることを祈って、みんなが予防をして生活していきたいと思えます。



「ぶらんこ大好き！」
エンジェルホーム 5B寮 4歳 Y.S.

「自分をみがくこと」

エンジェルホーム 5A寮 中1 S.S.

私は、学校が休みの間一番頑張っていることは、中学校の勉強の予習をしています。とくに力をいれている教科は数学と英語です。私は医者になることが夢なのでいっぱい努力をしてみんなに負けたくないくらいになりたいです。

最近、部屋をきれいにしたり、今までのまわっていてもやれなかったことをこの休校中にやっています。そして自分のためになることを中学校に行っても頑張ります。

「巣ごもり」

子供の町 すみれ 中野愛香

ここ最近の一番大きい変化はゲームを始めたことです！話題の“あつ森”です。興味本位で始めましたが、不覚にもハマってしまいました。子どもがゲームをしたがる気持ちが良くわかります。その他にも、ディズニージグソーパズルをやったり、Amazonプライムで海外ドラマも

見ます。また、もうすぐ1歳になる甥っ子とテレビ電話をすることも。直接



会えないのが悲しいですが、甥っ子の癒し効果は抜群です。姉の息子ですが、毎日LINEで動画も送ってくれるので、それが今一番の楽しみになっています。自粛生活は減入りそう・・・と思っていましたが、なんだかんだと充実しているかなと思います。

「毎日の生活を楽しくするために」

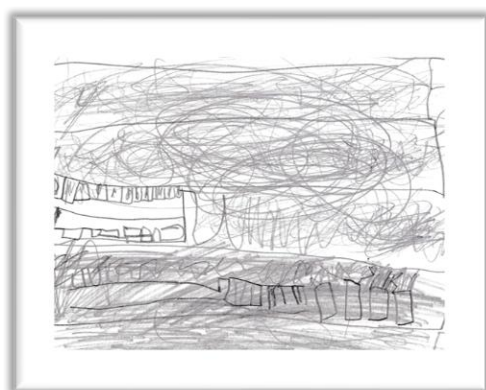
菜の花 小6 Y.Y.

私は、毎日の生活を楽しくすごしています。おかし作りをしたり、そとでちょっとな

わとびをしたりしています。コロナウイルスによって学校に行けなくなったり、外に出られなくなっています。毎日楽しくくらすためには、午前は勉強、午後は遊びとわけています。こまめに手あらいがいます。おへやもきれいにしたりしています。

学校も6月1日からはじまるので、手あらいがいをわすれないようにしたいです。

これからも楽しいことを見てけていきたいです。



「いつも遊んでいるお庭」
子供の町 たんぽぽ 5歳 H.K.

「長期休み中の過ごし方について」

子供の町 ゆり 中3 E.O.

現在、世界中で新型コロナウイルスの影響により学校が長期休みになり、その中で私は、

課題を計画的に進め、漫画などの誘惑に負けずに家庭学習を習慣づけることを目標としています。

また、お手伝いを自分から進んでやったり、小さい子達と一緒に遊んだり一日一

日を大切に過ごしています。

そして、一刻も早く平和な日常が戻り、学校に行きたいです。

5A寮の子どもたちが
新型コロナウイルス対策委員会を作り、
ポスターで呼びかけてくれました！！



<5A寮・新型コロナウイルス対策委員会>



**13名が新しく職員になりました。
希望に溢れる13名です。
どうぞよろしくお祈りします!**

「どんな『大人』でありたいか」

子供の町 すいせん 高橋果歩

「子どもを無条件に愛する」それがこの1年、さらにはこの先の子供の町生活において大切にしていきたいことです。どんな子であろうとも無条件にその子に愛情を注いであげたい、例えば大きな過ちを犯した子であっても、その子に愛情を注ぐ大人が1人くらいいても良いのではないかと、そんな風に思います。当然私と違う考えはあって良いものです。だからこそ、私ならではの芯として持っていたいと思います。

「子どもたちに

流されることなく愛情を注ぐ」

エンジェルホーム 5B寮 小原美波

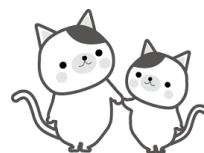
「流されることなく愛情を注ぐ」と言うのは、わがまを許してしまうのは愛情ではありません。厳しくしなくてはいけないことは厳しく、いいことをしたら褒めるなどをしっかり見極めることができるようにこの一年で頑張ります。1年目の私に対し子どもたちが嘘つくこともあります。許してくれると思われているが、しっかり厳しくそして自分も子供と一緒に成長できるようにしていきたいです。



「共に成長」

子供の町 すみれ 保坂楓子

私は、子どもと共に成長出来る一年にしたいです。一年目で分からないことばかりなので先輩職員だけでなく、子どもたちにもたくさん迷惑を掛けます。また、子どもたちとも上手に付き合うことができないことが多いと思います。その中でも、日々の生活を共に送りながら少しずつ私の事を知ってもらい、毎日の生活を楽しみながら子どもたちと共に成長していける一年にしたいです。



「この仕事に就くにあたり」

子供の町 あおば 溝部秋斗

私はこの1年目という時間で、誰からも信頼される職員になる為の土台作りをしたいと思います。

子どもたちとは、共に遊び、共に学び、共に悩みたいです。そうする事で、少しずつ子どもたちから信頼される職員になります!職員さんから信頼される為には、何事にも積極的に一生懸命取り組むという事を心がけていきます!

たくさんご迷惑をおかけする事があると思いますが、熱意と誠意をもって一生懸命頑張りますので、よろしくお祈り致します!



「子どもと

一緒に成長する一年に」

子供の町 ひまわり 杉本琴吏

子供の町に入職して早二ヶ月が経とうとしています。ここでの日々は、新鮮な発見と

試行錯誤の繰り返しです。その中で、子どもたちと楽しいひと時が過ごせたときや笑顔を見た時は、なによりも嬉しいです。これから子どもたちとたくさん遊び、たくさん話し、たくさん思い出をつくり一緒に少しずつ成長していけたらと思います。

「1年目の抱負」

子供の町 たんぽぽ 染谷怜奈

1年目の抱負として、一人一人の子ども達と向き合い、生活圏に入っていくことで時にぶつかり、時に励ましあいながら子どもたちと共に成長していきたいと思っています。

また、これまでの経験を活かし、私にしか出来ない支援や方法を考えながら他の職員さんからアドバイスを頂きながら、子ども達の今後の自立に向けた支援を自分なりに精一杯していきたいと思っています。

「1年目の抱負」

子供の町 あんず寮 時田友希乃

働き始めて約1ヶ月半が経ち、雰囲気や仕事に慣れない中、先輩職員さんや子どもたちにやるべきことを教えてもらいながら徐々に1日の流れを覚え、やっと自分から動けるようになってきました。

子どもの気持ちに寄り添い、やるべきことの正しい判断が出来るように、分からないことはそのままにせず先輩職員さんに助言をいただいたり動きをよく見て日々、身にしていけるように頑張っています。



「一年目の抱負」

エンジェルホーム 5A寮 山田彩乃

私は、子どもたちと生活する上で相談に乗ったりして少しでも子どもの力になりたいと思って入職しました。入職してから1ヶ月が経ちましたが、分からないことばかりで他の職員の皆様や子どもに迷惑をかけてしまっているのが早く仕事を覚えたいです。また、子どもたちの関係を少しずつ築いていけるように関わりたいです。一人一人の小さな変化にも気づき、喜びや悲しみを共有できるような存在になれるように日々努力します。

「一年目の抱負」

エンジェルホーム 6寮 榎本瑞希

まずは子供の町でのルールや生活習慣などに慣れる。1年目からすぐに子ども達と信頼関係を築いていくのは大変だが、今からでもゆっくりコツコツと楽しく！時に厳しく！笑顔で関わっていく。この数ヶ月の間でも沢山の経験をしてきたが、いつ何が起ころうとも対応できるような職員になれるよう、日々努めていきたい。また、あの日の出来事を決して忘れぬよう精進して頑張っていく。



「夢を叶えて…」

エンジェルホーム 9寮 及川眞里佳

私は、児童養護施設職員になることが小学生からの夢でした。

夢を叶えて満足するのではなく、職員の方々の良いところを沢山見て学び自分の強

みを伸ばしていきたいと思えます。

また、わからないことばかりで、職員の方々に迷惑をおかけしてしまう事が多々あると思えますが、自ら積極的に行動し、子どもたち一人ひとりにあった関わりが出来るよう意識し、失敗を次につなげられる職員を目指して頑張っています。

「1年目の抱負」

子供の町 ゆり 大川内 響

ここまで働かせて頂き少しずつですが自分が担当している寮の雰囲気、一日の流れなどに慣れることができました。その為、これからは少しずつ職員としてこなさなければならない業務を覚えていきたいです。自分が想像していた以上に様々な業務や連携があり、全てを覚えるには時間がかかるなと感じました。その為少しでも分からない事や曖昧な部分は先輩職員に質問し理解し、子どもにきちんと寄り添える指導員になりたいです。

「今年の抱負」

子供の町 さくら 鎌田勇真

自身が経験してきた中での児童養護施設のイメージと実際に働いてみて感じた事のギャップに驚いたり、難しさに対面したりと大変な事ばかりですが、なぜ自分がこの仕事を志したのか、その根本を忘れることなく日々の業務に向き合いながら、1年目、何だかんだ楽しかったなあと思えるような1年にすることが今年の目標です。

「1年目の抱負」

子供の町 あやめ寮 野原優花
あやめ寮に配属となりました野原です。

まだ分からない事ばかりで子どもたちとの関わり方なども手探りではありますが、毎日の気づきや体験を大切にして常に学び続けていきたいと思っています。

また優しく子どもたちに寄り添っていけるような職員になりたいです。

まだまだ先輩職員の方々には教えてもらうことばかりで迷惑をかけてしまっていますが、職員の方々、子どもたちから信頼されるよう日々努力します。

よろしくお願ひします。



子供の町 あれこれ

◆4月1日<新職さんとの顔合わせ会>
新規採用職員との顔合わせ、例年は講堂に全児童集合しての職員紹介の場ですが、今年は新型コロナウイルス感染防止のため、短時間で密集を防ぐため、中高生だけの参加としました。子供の町・エンジェルホームの子どもたち全員集合となると130数名になってしまうため、致し方ない対応と判断しました。新職さんそれぞれから元気なあいさつがあり、最後は、根岸SV指導のもと、恒例の「子供の町の歌」で締めくくりました。

◆4月22日<Web会議>
評価制度導入について東京のコンサルタントとの会議を初めてオンラインで実施しました。新型コロナウイルス拡大防止のため、

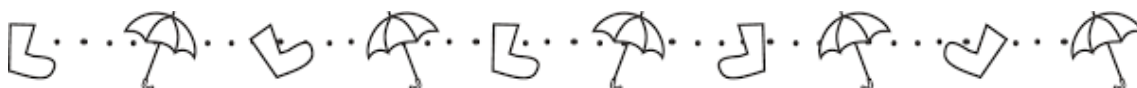
在宅ワークが推奨され、会議もインターネットを利用した会議が増えてきているようです。これからの会議は、こちらが主流になっていくのでしょうか。

◆4月24日<S君卒園>

20歳になった大学生のS君が、退所していきました。大学では社会福祉を学んで将来は児童養護施設の職員を目指しているS君、今日から一人暮らしになります。頑張り屋のS君ですから、夢の実現に向けて頑張ってくれる事と思います。S君の未来に幸あれと祈ります。

◆5月12日<秋の楽しみ>

地域のほっこり虹の会の方々が、施設内の畑にサツマイモの苗を植え付けに来て頂きました。例年は、子どもたちと一緒に植え付けしていましたが、新型コロナウイルスの影響で、ほっこり虹の会の方々たちだけでの作業、生い茂った雑草抜きが大変だったようですが、きれいに植え付けていただきました。秋には是非、子どもたちと一緒に丸々成長したサツマイモを収穫出来るのを楽しみにしています。



令和2年3月～5月に寄付金・寄付品を頂いた方々(順不同・敬称略)

荒木 嗣則	(株)光雲堂	(株)たかくら新産業
(株)イシモ建設	坂口 三郎	(有)ダスカジャパン クアウテモツク
和泉 英仁	埼玉県食鳥組合	塚越 敏子
(株)市上建設	(株)ジェイ・ストーム	坪井 康行
井上 修	坂元 勇仁	(株)並木樹脂
内堀医院	三州製菓(株)	(株)ヒイラギ
エルアンドエル柏	(有)七福開発	ハピネスケア(株)
大橋 順子	篠田 雅央	広松三和子・山崎・盧銀淑
(有)沖田土木	シフォンママ工房	(株)松本商会
小野寺 功	庄司 三貴男	(一社)みらいの子ども達へ
春日部第2児童センター	白石 和代	宮用 直司
かぞヤクルト販売(株)	新春プレミアム2020実行委員会 古市佳央	靖國神社
倉島秀明	太平 内牧夢らんど	吉田 圭子
グローバルファミリー	太平 かすかべ夢らんど	和田 悦子
毛部川 裕一	太平 杉戸夢らんど	他 匿名の方
	太平 平方夢らんど	

※子供の町のホームページを開設しております。是非ご覧ください。

<http://kodomonomachi.jp/>

子供の町後援会からお知らせ

新年度は、新型コロナウイルスという今まで経験したことのない脅威から始まりました。沢山の方にご心配を頂きましたが、おかげさまで、子どもたちは園内にて元気に過ごしています。後援会で毎年秋に開催するチャリティーバザーですが、今回は中止といたしました。今後どのような状況になるか予測もつかない事と、バザー会場は3密になってしまう事を考慮して判断いたしました。毎年、ご支援・ご協力を頂いている皆様、ご来場を楽しみにして頂いている皆様には大変申し訳ございませんが、ご理解いただけますようお願い申し上げます。尚、子どもたちへの支援は、例年どおり行う予定です。後援会会員の皆様へは、改めて、ご報告をさせていただきます。

後援会事務局 TEL 048-746-0206